

【 幼児教育を巡る背景と課題等 】

〔背景等〕

- 幼児教育については、幼児の発達をふまえた適切な教育活動や小学校教育との円滑な接続の重要性が指摘されている。
- 文部科学省の「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会」の最終報告書（R6.10）の中で、幼児教育ビジョンの策定及びビジョンを推進するための組織として幼児教育センターの設置が各都道府県に求められている。
- 「第7次山形県教育振興計画」等において、幼児期が人格形成の基礎を培う重要な時期であることを踏まえ、質の高い幼児教育の推進を掲げている。

〔本県において取り組むべき課題〕

- ◇ 幼児期の教育は、安心できる環境のもとで一人ひとりの発達の特性に応じた支援が行われることが重要。
- ◇ 幼児期に育まれた資質・能力がその後の学習につながるよう、幼児教育と小学校教育における円滑な連携が必要。
- ◇ 全ての幼児教育施設及び小学校等において、教育の一層の充実に向けて持続的、発展的に取り組むため、本県における幼児教育推進の基本的な方向性を示すことが必要。

【 幼児教育推進ビジョンの基本的方向性 】

〔1 目指すべき姿〕

一人ひとりのよさや可能性を伸ばす質の高い幼児教育の実現

〔2 推進の方向性〕

（1）幼児期にふさわしい教育の実現に向けた人材育成等

- ① 保育者等の幼児教育の専門性や資質の向上
- ② 幼児教育に携わるリーダーの育成
- ③ 特別支援教育等について相談しやすい環境の整備

（2）幼児教育と小学校教育の円滑な接続による学びの連続性の確保

- ① 架け橋期のカリキュラムの充実
- ② 好事例の創出と波及
- ③ 家庭との連携の強化

〔3 推進の中心的組織〕

幼児教育センター

（令和8年度より設置）

- 幼児教育アドバイザー・架け橋期のコーディネーターの育成・派遣
- 保育者等の幼児教育の専門性や資質向上のための研修会等の支援

- 架け橋期のカリキュラム開発
- 好事例の情報収集・発信 など

〔4 推進体制〕

山形県幼児教育推進協議会

（令和8年度より設置）

- 幼児教育施設、小学校、市町村及び指定保育士養成施設・大学の代表者等により構成
- 本県の幼児教育に関する施策の成果等の評価及び改善策の協議

〔5 各主体が取り組む主な事項〕

県

- ◆ 幼児教育センターの運営
- ◆ 関係機関間の連携の調整
- ◆ 知事部局と教育委員会との連携

市町村

- ◆ 計画的な幼児教育の推進
- ◆ 幼保小の連携体制の強化
- ◆ 児童福祉部局と教育委員会との連携

幼児教育施設

- ◆ 幼保小の連携の充実
- ◆ 3要領・指針等の着実な理解と展開
- ◆ 保育者等の資質向上

小学校

- ◆ 幼保小の連携の充実
- ◆ スタートカリキュラムの工夫・改善
- ◆ 小学校教諭等の資質向上